

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（土工）実施要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p>1. 【 省 略 】</p> <p>2. I C T 活用工事の概要</p> <p>※ I C T の活用区分については《表 - 1 I C T の活用区分》を参照。</p> <p>受注者からの提案により、<b>〔削除〕</b>付帯構造物設置工、法面工及び作業土工（床掘）に I C T 施工技術を活用する場合はそれぞれ実施要領及び積算要領を参照すること。</p> <p>3. 対象工事</p> <p>（1） 【 省 略 】</p> <p>（2）受注者希望型</p> <p>対象工種を含む発注者指定型以外の工事において、受注者からの希望により実施する工事。<b>土工量によらず</b>発注時において特記仕様書に明示する（<b>土工量1,000m3未満の場合は、I C T 活用工事（土工1,000m3未満）実施要領など参照</b>）。I C T 施工技術の活用については、契約後、受発注者間協議により決定する。</p> <p>4. 【 省 略 】</p> <p>5. 取組内容</p> <p>①～③ 【 省 略 】</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>＜出来形管理＞</p> <p>下記1）～9）から選択（複数以上可）して、出来形管理を行うものとする。</p> <p>出来形管理にあたっては、標準的に面管理を実施するものとするが、施工現場の環境条件により、面的な計測のほか、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択しても I C T 活用工事とする。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理</p> <p>2）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3）トータルステーションを用いた出来形管理</p> <p>4）トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理</p> <p>5）R T K－G N S Sを用いた出来形管理</p> <p>6）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>7）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>8）施工履歴データを用いた出来形管理（土工）</p> <p>9）<b>〔削除〕</b></p> <p><b>9）</b>その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>＜品質管理＞</p> <p>下記<b>1 0</b>）の技術を用いた品質管理を行うものとする。</p> <p><b>1 0</b>）T S ・ G N S S による締固め回数管理技術</p> <p>⑤ 【 省 略 】</p>	<p>1. 【 省 略 】</p> <p>2. I C T 活用工事の概要</p> <p>※ I C T の活用区分については《表 - 1 I C T の活用区分》を参照。</p> <p>受注者からの提案により、<u>地盤改良工</u>、付帯構造物設置工、法面工及び作業土工（床掘）に I C T 施工技術を活用する場合はそれぞれ実施要領及び積算要領を参照すること。</p> <p>3. 対象工事</p> <p>（1） 【 省 略 】</p> <p>（2）受注者希望型</p> <p>対象工種を含む発注者指定型以外の工事において、受注者からの希望により実施する工事。<u>ただし、土工量が1,000m³ 以上の工事は、</u>発注時において特記仕様書に明示する。I C T 施工技術の活用については、契約後、受発注者間協議により決定する。</p> <p>4. 【 省 略 】</p> <p>5. 取組内容</p> <p>①～③ 【 省 略 】</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>＜出来形管理＞</p> <p>下記1）～1 0）から選択（複数以上可）して、出来形管理を行うものとする。</p> <p>出来形管理にあたっては、標準的に面管理を実施するものとするが、施工現場の環境条件により、面的な計測のほか、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択しても I C T 活用工事とする。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理</p> <p>2）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3）トータルステーションを用いた出来形管理</p> <p>4）トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理</p> <p>5）R T K－G N S Sを用いた出来形管理</p> <p>6）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>7）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>8）施工履歴データを用いた出来形管理（土工）</p> <p>9）<u>施工履歴データを用いた出来形管理（地盤改良工）</u></p> <p><u>1 0）</u>その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>＜品質管理＞</p> <p>下記<b>1 1</b>）の技術を用いた品質管理を行うものとする。</p> <p><u>1 1</u>）T S ・ G N S S による締固め回数管理技術</p> <p>⑤ 【 省 略 】</p>	<p>誤記の修正</p> <p>土工 1,000m3 未満の実施要領を新規に作成したことによる追記</p> <p>誤記の修正により 削除 番号の修正</p>

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（土工）実施要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p>6. ～ 14. 【 省 略 】</p> <p>15. 特記仕様書への明示例</p> <p>（1）発注者指定型の場合</p> <p>1 【 省 略 】</p> <p>2 I C T 活用工事の実施にあたっては、森林<b>整備</b>保全事業 I C T 活用工事（土工）実施要領（令和 5 年 8 月）に基づくものとする。この実施要領は、富山県のホームページの『富山県森林<b>整備</b>保全事業における I C T 活用工事の施行について』から入手できる。</p> <p>3 ～ 5 【 省 略 】</p> <p>（2）受注者希望型の場合（土工量が1,000m3 以上の工事）</p> <p>2 I C T 活用工事の実施にあたっては、森林<b>整備</b>保全事業 I C T 活用工事（土工）実施要領（令和 5 年 8 月 ）に基づくものとする。この実施要領は、富山県のホームページの『富山県森林<b>整備</b>保全事業における I C T 活用工事の施行について』から入手できる。</p> <p>3 ～ 5 【 省 略 】</p> <p>（3）受注者希望型の場合（土工量が1,000m3 未満の工事）</p> <p>森林整備保全事業 I C T 活用工事（土工1,000m3未満）実施要領などを参照</p> <p>16. 【 省 略 】</p> <p>附則</p> <p>この要領は、令和 5 年 8 月15日以降に作成する設計書から適用する。</p> <p>《表－ 2 I C T 活用工事と適用工種（その 1）》</p> <p>【 表 略 】</p> <p>《表－ 2 I C T 活用工事と適用工種（その 2）》</p> <p>【 表 略 】</p>	<p>6. ～ 14. 【 省 略 】</p> <p>15. 特記仕様書への明示例</p> <p>（1）発注者指定型の場合</p> <p>1 【 省 略 】</p> <p>2 I C T 活用工事の実施にあたっては、森林<b>保全</b>事業 I C T 活用工事（土工）実施要領（令和 4 年 10 月 富山県農林水産部）に基づくものとする。この実施要領は、富山県のホームページの『富山県森林<b>保全</b>事業における I C T 活用工事の施行について』から入手できる。</p> <p>3 ～ 5 【 省 略 】</p> <p>（2）受注者希望型の場合（土工量が1,000m3 以上の工事）</p> <p>2 I C T 活用工事の実施にあたっては、森林<b>保全</b>事業 I C T 活用工事（土工）実施要領（令和 4 年10月 富山県農林水産部）に基づくものとする。この実施要領は、富山県のホームページの『富山県森林<b>保全</b>事業における I C T 活用工事の施行について』から入手できる。</p> <p>3 ～ 5 【 省 略 】</p> <p>（3）受注者希望型の場合（土工量が 1,000m3 未満の工事）</p> <p><u>明示なし</u></p> <p>16. 【 省 略 】</p> <p><u>【 新 設 】</u></p> <p>《表－ 1 I C T 活用工事と適用工種（その 1）》</p> <p>【 表 略 】</p> <p>《表－ 1 I C T 活用工事と適用工種（その 2）》</p> <p>【 表 略 】</p>	<p>字句の修正</p> <p>字句の修正</p> <p>土工 1,000m3 未満の実施要領を新規に作成したことによる追記</p> <p>適用日の追加</p> <p>表番号の修正</p>